

「近畿中部広域復興支援ファンド」への出資について

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、REVICキャピタル株式会社と株式会社AGSコンサルティングが共同で設立した「近畿中部広域復興支援ファンド」（以下「本ファンド」という）に出資することとしましたのでお知らせします。

本ファンドは、新型コロナウイルス感染症等の影響により経営環境が悪化した事業者の復興および事業再生等の早期実現に向け、近畿中部地区の対象地域に本店または主要事業拠点を有する事業者、および同地域の地域経済の再活性化に資する事業を行う事業者等に対し、必要資金の提供および人的支援を行うことを主たる目的としています。

当金庫は今後とも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまの資金調達ニーズにお応えするとともに、中小・零細事業者の課題解決と円滑な金融仲介機能の発揮に取り組み、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】 (2020年7月31日現在)

名称	近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合
地域	大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県
設立時ファンド金額	3,280百万円
設立日	2020年7月31日
存続期間	10年間
業務運営者	REVICキャピタル(株) (株)AGSコンサルティング

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

